

2016/2/13 18:18

神戸新聞NEXT

中国電が基準地震動引き上げ 島根2号機、再稼働時期に影響か

再稼働に向けた適合性審査を受けている島根原発2号機（松江市）をめぐり、中国電力が基準地震動（耐震設計の目安となる地震の揺れ）を、これまでの最大加速度600ガルから同800ガルに引き上げる方針であることが13日、中国電への取材で分かった。

中国電によると、数値は原子力規制委員会に提示しており、新たな補強工事が必要となれば、再稼働の時期が遅れる可能性がある。

中国電が島根原発の南約2キロを東西に走る活断層「宍道断層」の全長を、以前よりも約3キロ長い約2.5キロに評価し直すとしたことを規制委が了承。新たな数値800ガルは、断層を延長した影響などを考慮し決めた。